



女性防災会  
活動報告 32

## シンポジウムに初参加♪

### 地域防災力向上シンポジウム in 徳島 2020

日時：令和2年1月16日（木）13時00分～16時30分

場所：あわぎんホール 1階ホール

消防庁主催のシンポジウムに招待され、長岡会長がパネリストとして北島町女性防災会の活動を発表しましたので報告します。

このシンポジウムは地域防災への女性の参画を目的とし、さまざまな団体の取り組みを紹介し、徳島でも女性の活躍と地域防災力の向上に繋げようと開催されました。

徳島県消防団協力事業所 知事表彰式の後、「避難生活で命と健康、本当に守れますか？」という題で基調講演が行われました。過去の災害で、高齢者や障がい者の死亡が多く、助かった後にも支援が行き届かず、災害関連死につながった事から、避難所運営に女性や高齢者・障がい者・子どもなど多様な視点を入れ、防災体制を確立していくことが必要だという講演内容でした。

次に他県の事例発表が2つありました。愛媛県松山市の女性消防団と神戸学院大学の防災女子です。女性消防団と学生、それぞれの角度から防災を考え、積極的に活動していることがわかりました。

その後、「みんなで考える！未来へつなぐ地域防災」と題したパネルディスカッションでは、県内の5団体が活動事例を発表し、課題や今後の抱負を出し合いました。

北島町女性防災会の発表は、ピンクの‘まもるんじょジャンパー’を着た長岡会長が、これまでの活動4種類を紹介しました。



- ①毎年町防災訓練へ参加し、女性目線で考えた避難所を担当
- ②意見交換のテーマを毎回変え、お茶を飲みながらの「防災カフェ」
- ③幼稚園や小学校への「出前講座」
- ④夏休みの宿題に防災を取り入れる「夏休み自由研究企画」

防災に関心のある人しか集まってこない現状の中、関心のない人をどう振り向かせるか、また、女性が意見や提案を言いやすい場所作りを課題として、活動していききたい事を伝えました。

どの団体の事例発表もとても勉強になり、身近には災害に備えようと活動している人たちがこんなにいるということを知り、心強く思いました。

災害は年齢・性別・性的マイノリティ・人種・障がい・病気などに関係なく、そこにいる人に降りかかります。世代や性別などを超えて柔軟に理解し、協力し合っていけるように、共助を豊かにするネットワーク作りを進めて行くことが必要だと感じました。

このシンポジウムに参加したことで、同じ志の仲間とともに、まだ防災に一歩踏み出せない人たちにも寄り添えるように、活動していこうと思います。

(女性防災会 LINE 報告より一部引用・抜粋)

